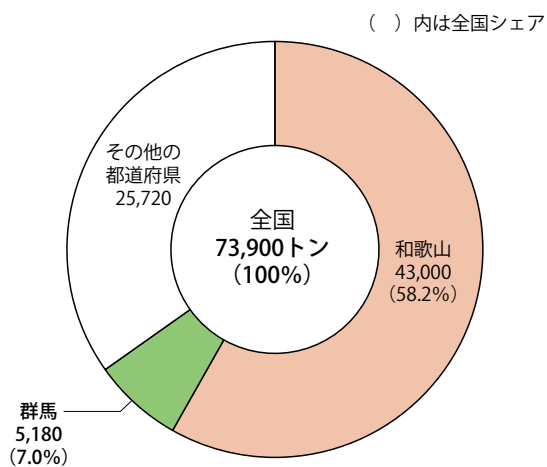


群馬は梅の収穫量が全国2位

～「白加賀」品種の収穫量では日本一～

- 2025年の本県の梅の収穫量は、5,180トンで全国シェアの7%を占め、全国2位であった（図表1）。1位は和歌山県の43,000トンで突出している。
- 品種別の収穫量は、全国では「南高」が多くを占めているが、群馬では「白加賀」が半数を超える（図表2）。「白加賀」は、果肉が厚く緻密でなめらかなことから、梅干しと梅酒の両方に適した品種である。
- 「白加賀」の収穫量を都道府県別にみると、群馬が全国の約7割を占め、トップとなっている（図表3）。群馬県では、「白加賀」のブランド力向上に向けて、おいしさや健康にかかわる成分を分析し、その成果の情報発信等をしている。

図表1 梅の収穫量（2025年、トン）



資料：農林水産省「作況調査」

図表2 梅の品種別の収穫量（2022年・構成比%）

群馬	白加賀 54.0	梅郷 17.5	織姫 12.2	その他 16.3
全国	南高 85.9	小粒南高 3.6	白加賀 2.6	その他 7.8

図表3 「白加賀」の収穫量（2022年・構成比%）



図表2、3について

資料：農林水産省「特産果樹生産動態等調査」より当研究所で計算
注：全国出荷量のおおむね8割を占める上位都道府県を対象とする



大粒の白加賀の果実（写真は群馬県提供）



広大な梅林（箕郷町、写真は高崎市提供）

【一口メモ】

本県では、梅の実がなるのは5月下旬から6月下旬頃。2月下旬から3月にかけて、梅の開花が進み、ぐんまの三大梅林『秋間』『榛名』『箕郷』では、梅まつりが例年開催されている。春の訪れを探しに出かけてみてはいかがだろうか。

（担当：丸岡美智世）